

鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2022年11月9日

2022年10月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は276.0億円と、前年同月比で9.3%減となった。昨年の同月が比較的高かったこともあり、プレス系・板金系ともにマイナスとなったが、堅調な推移とみられる。コロナ禍からの回復基調も、ここに来て横ばい状態となっており、長納期化、円安・ウクライナ侵略等といったマイナス要因も影響しているものと考えられる。
- 機種別 プレス系機械は101.7億円と、前年同月比で20.6%減となり、中型プレス47.4%増、大型プレス11.5%増で、小型・超大型・油圧プレス、フォーミング、自動化装置はマイナスであった。板金系機械は98.7億円で、前年同月比12.3%減と3か月連続のマイナスとなった。レーザープラスマのみ13.5%増で、プレスブレーキ29.5%減、パンチング19.3%減であった。
- 内外別 国内は104.1億円、前年同月比17.3%減となり、鉄鋼64.6%増、自動車9.3%増であったが、他の金属、一般機械、電気はマイナスであった。(機種計) 輸出は96.2億円、前年同月比16.1%減となり、北米向9.2%増、東南アジア向3.5倍であったが、韓国・台湾向55.1%減、中国向42.5%減、欧州向5.1%減であった。

鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ

月 平 均



